

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 28日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市保土ヶ谷区岡沢町82

氏名 株式会社ホンダカーズ横浜
代表取締役 細井 正樹

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ホンダカーズ横浜 代表取締役 細井 正樹					
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市保土ヶ谷区岡沢町82					
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	60 その他の小売業				
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	277	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <ol style="list-style-type: none">1. Honda点検パックの新規・継続契約の拡販による、引取・納車台数の削減。2. 社有車（試乗車・代車）へのETC装着。3. 社有車（試乗車・代車）のハイブリッド車・低燃費車・スモールカーの導入。4. 営業職以外の従業員の通勤手段は、原則として公共交通機関を利用する。5. 社有車運行管理表に給油数を記入し、燃費に対する意識向上を図る。6. 社員に対するエコドライブの推進。7. LED照明の導入。
--

4 推進体制

株式会社ホンダカーズ横浜（第3号該当事業者）
 計画管理責任者 株式会社ホンダカーズ横浜 代表取締役
 計画推進責任者 株式会社ホンダカーズ横浜 事業管理部 部長
 技術管理者 株式会社ホンダカーズ横浜 総務課 課長
 推進責任者 株式会社ホンダカーズ横浜 新車販売拠点 16店舗 拠点長 16名
 中古車販売拠点 3店舗 拠点長 3名
 本社総務課主任

以上、23名で「温室効果ガス排出抑制」を推進します。

5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	本社窓口
	所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町82
	閲覧可能時間	10:00～18:30
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	485	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	485	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	480	t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	要員数増により社用車台数の削減は難しいものの、エコカー比率増や適正配置をしていく。エコドライブの推進、LED照明の導入を進め、CO2削減を図る。								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	455	t-CO ₂	削減率	6.2 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	455	t-CO ₂	削減率	6.2 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	自動車の保有台数は50台増加しているものの、主に試乗車として拠点に適正配置をし、スタッフの移動に関しては公共交通機関の利用を推進した。								
第二年度 (2017年度)	排出量	463	t-CO ₂	削減率	4.5 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	463	t-CO ₂	削減率	4.5 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	要員数増により社用車台数の削減は難しいものの、エコカー比率増や適正配置をしていく。9拠点LED照明の導入実施、2017年7月より週休2日定休導入実施、拠点9拠点電気使用量減少ができた。								
第三年度 (2018年度)	排出量	396	t-CO ₂	削減率	18.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	396	t-CO ₂	削減率	18.4 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	拠点の社用車の適性台数を考慮し、台数が前年度に対し65台削減できたことによるCO2削減と、エコカーの適正配置を行っていく。また、6拠点の照明をLEDに切り替えを実施した。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	第二年度は第一年度に対して社用車の台数が145台増加した事によりガソリンの使用量がおおくなり排出量が増えてしまったが、第三年度は対第二年度に対して社用車を108台減らした事によりガソリンの使用量が減ったことと、ハイブリッド車の比率を多くした事により排出量が大きく減少した。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
普通貨物自動車	2	1	2	1	2	1	2	3
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車	178	484	228	454	316	462	275	393
合計	180	485	230	455	318	463	277	396
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	181.9	%	190.8	%	77.6	%	193.0	%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	15	機器性能管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	—	230/230	年度		実施済	—	492/492	年度		実施済	—	384/384	年度		実施済	—	384/384	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	—	230/230	年度		実施済	—	492/492	年度		実施済	—	384/384	年度		実施済	—	384/384	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度		実施済	20/20	—	年度	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	節電ガイドライン（夏季・冬季）の発信 ・夏季はクールビズ
計画期間内に実施する対策	クールビズを5月から10月に実施
第一年度実績	クールビズを5月から10月に実施
第二年度実績	クールビズを5月から10月に実施
第三年度実績	クールビズを5月から10月に実施

14 実施状況等に対する自己評価

ひとりひとりの意識が重要と考え「節電のガイドライン」を啓蒙を継続して実施している。また、営業スタッフの通勤方法を、貸与車通勤から公共交通機関に変更し少しでもCO2削減つなげる活動を実施。